

目標（8）

ハーモニーを奏でる
快適な都市空間をつくります



▲上空から高浜市を臨む

修正箇所なし

I. 目指す姿【PLAN】

目標達成に向けての考え方	住み続けたいと思える快適なまちをつくるために、地域の特性に応じた秩序ある土地利用を推進し、住環境、ライフライン、道路、景観・憩いの場など、都市を形成するそれぞれの要素を調和（ハーモニー）させていきます。
目標が達成された姿	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 都市空間の調和が保たれ、快適に暮らせる住環境やライフラインの整備が進んでいます。 ◇ 誰もが日常生活において、スムーズに移動できる環境づくりが行われています。 ◇ 公園・緑地などが、やすらぎや愛着・誇りが感じられる憩いの場として親しまれ、笑顔と賑わいであふれています。

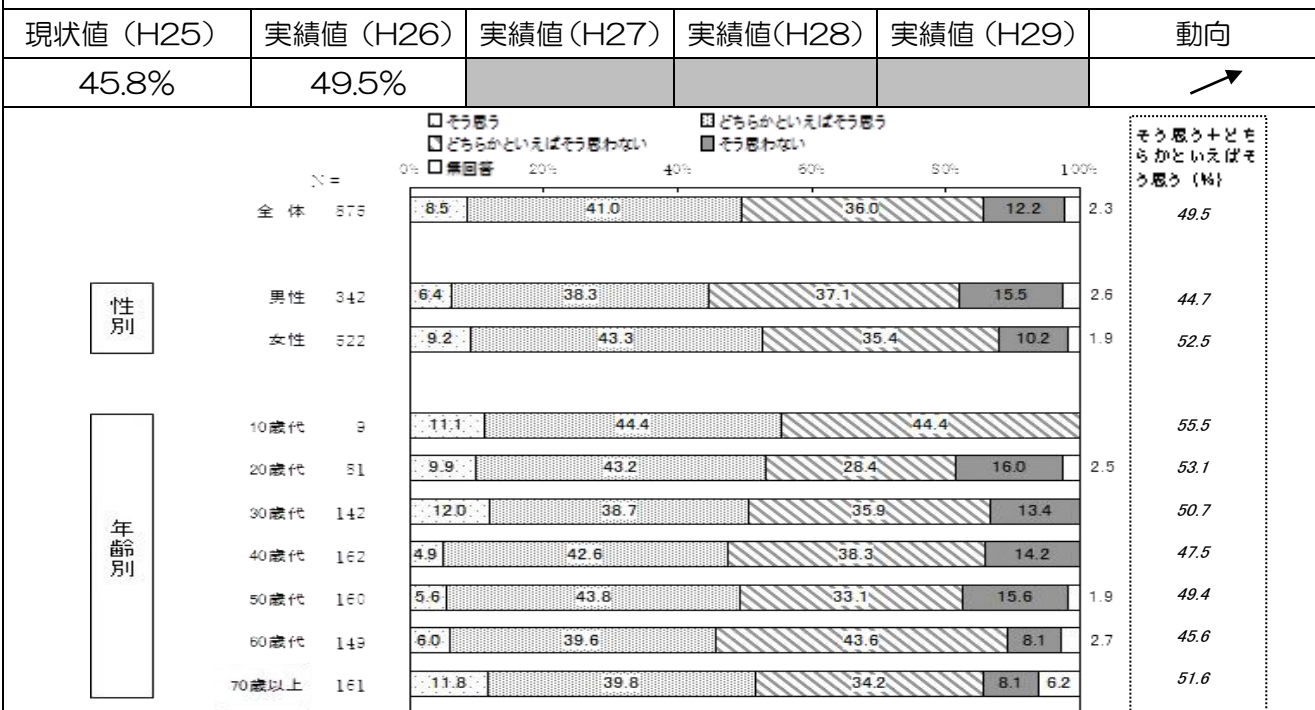
II. 目標達成のための主な取組み【DO】

こんなことに取り組みます！	何を・どうした	いつ
(1) 住環境やライフラインの整備など、都市空間の快適さや安全性、魅力を高める取組みを進めます。	①配水管を耐震管に入れ替える工事を実施した。(新規埋設管、下水道工事区域等)	H26.4 ~H27.3
	②17.4haの区域で污水管整備工事を実施した。 (論地処理分区(向山町一丁目・五丁目・六丁目地内) 中部第1処理分区(神明町三丁目・四丁目地内))	H26.7~ H27.3
	③国庫補助による、配水管布設替工事計画の策定を進めた。	H26.9
(2) 安全・安心・便利に移動できるように道路を整えるとともに、公共交通の利用も促進します。	①いきいき号において、市内5コース40便、刈谷市コース9便を運行した。	H26.4~ H27.3
	②市道港線の整備において、横浜橋南工区の権利者との交渉を行った。	H26.4~ H27.3
	③路面状態や道路付属物(照明灯)・橋梁の安全性等の点検を行い、次年度以降の舗装修繕計画を策定したほか、付属物のうち緊急性の高いものは前倒しの修繕を行った。	H26.6~ H27.3
(3) 公園・緑地、街路樹や水辺空間などを地域の財産としてとらえ、地域と連携しながら、特性を活かした憩いの場づくりを進めます。	①NPO 団体等と連携を図り、公園・緑地・街路樹等の保全活動を実施した。	H26.4~ H27.3
	②(仮称)論地どんぐり公園整備について、まちづくりトーク&トーク並びにワークショップを実施し、地域住民との意見交換を行った。	H26.8 H26.11
	③(仮称)論地どんぐり公園第1期工事の繰越工事を竣工させた。	H26.9

Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】

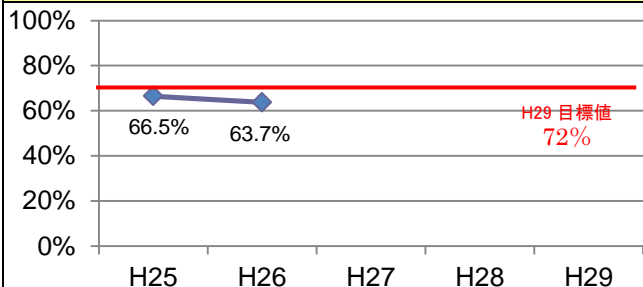
1. 市民意識調査結果

【設問】調和の取れた土地利用が図られ、安全・快適で移動しやすいまちだと思う

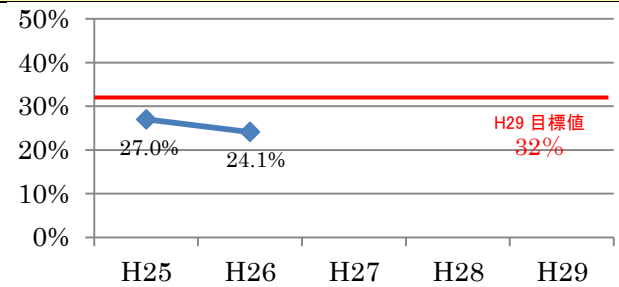


2. 「みんなで目指すまちづくり指標」の状況

1) 暮らしやすい環境が形成されていると感じている人の割合



2) 公園・緑地、街路樹や水辺空間づくりに参加したことがある人の割合



3. 「市民意識調査」「みんなで目指すまちづくり指標」結果に対する分析 (要因・課題等)

- 「市民意識調査結果」は策定時と比べて 3.7%上昇した。「市民意識調査報告書」で内訳をみると、校区別で翼小学校区 (56.7%) と吉浜小学校区 (52.1%) が、全体数値よりもそれぞれ 7.2%、2.6%高くなっており、全体数値を押し上げている。
- 指標 1) は、策定時と比べて 2.8%減少した。「市民意識調査報告書」で内訳をみると、女性はほぼ横ばい (67.7%→67.1%) であるのに対し、男性では 7.1%減少 (65.3%→58.2%) しており、全体の数値を押し下げている。
- 市民意識調査結果と指標 1) に関して、都市基盤整備は事業期間が中長期にわたるため、短期間で効果が表れにくい。計画的に、また、着実に進めていくことが大切である。
- 指標 2) は、策定時と比べて 2.9%減少した。「市民意識調査報告書」で内訳をみると、50代～70代でそれぞれ 6～8%程度減少しており、全体の数値を押し下げる要因となっている。また、校区別にみると、翼小学校区以外の 4 小学校区で、策定時と比べてそれぞれ 4.5～7%弱の減少となっている。公園づくりや水辺の維持管理等に汗を流す市民が増えていくことによって「自分たちの公園・緑地、街路樹、水辺」といった愛着意識が高まるとともに、地域の特性に合った憩いの空間が育まれていく。また、健康づくりやまちづくりの第一歩にもつながっていく。公園清掃、水辺 (稗田川) の植栽活動、街路樹里親管理など、地域と連携しながら各地域でどんな取組みが行われているのかを紹介し、活動の輪を広げていくことが重要である。

IV. 課題と今後の取組み【ACTION】

課題	課題解決に向けた新たな取組み（案）	見直し・改善（案）
（１）長寿命化に向けた取組み ・高度成長期に整備された道路・橋梁・雨水排水施設などの老朽化に対応する必要がある。 ・道路路面、道路付属物、橋梁について、「長寿命化計画」の策定により「点検→診断→措置→記録」といったメンテナンスサイクルは明確になった。しかし、幹線道路以外の路面については、路面性状調査の予算確保が厳しいことから、計画的な修繕計画ができない状況である。	・道路舗装、橋梁、道路付属物の修繕にあたっては、昨年度実施した「道路路面、道路付属物、橋梁点検」の結果や「道路の修繕履歴等」に基づき、 <u>予防保全型の維持管理を計画的に進めていくことにより、将来にわたる維持管理・更新コストの縮小に努めていく。</u>	継続
	・幹線道路以外の路面については、道路パトロール等により、異常箇所を発見し緊急修繕に努める。	継続
（２）地域と連携しながら、特性を活かした憩いの場づくりを進める ・NPO 団体等と連携を図り、みどりや憩いの場の保全活動、公園づくりや水辺の維持管理等に汗を流す市民を増やしていく取組みが必要である。	・ <u>現在進めている、地域や団体主体の行事への参加を継続し、必要に応じた対策を、みんなで考え継続していくこと</u> を進める。指標は低下しているが、現在の取組みを地道に継続し、参加者の口コミ等により愛着意識を高め、公園づくりや水辺の維持管理等に関わる市民を増やしていく。	継続
（３）長期的な視点と国・県等との連携 ・事業完了までには長期を要する。また事業推進には市単独では困難であり、国・県・関係機関との連携が欠かせない。	・国・県等の関係機関と連携しながら、整備を進める。	継続
	・市の財政状況を踏まえ、計画的に整備を進める。	継続

V. 第6次高浜市総合計画推進会議による点検・確認結果【CHECK】

Ⅱ. 目標達成のための主な取組み【DO】に関して
・ライフラインの整備については、人材が不足している点も含め、市の全体像を見通した上で取り組んでいただきたい。

Ⅲ. 目標の達成状況と結果分析【CHECK】に関して

Ⅳ. 課題と今後の取組み【ACTION】に関して

- 地域と連携した憩いの場づくりについて、具体的にどの団体と、どのような取組みを進めていくのか、どのように活動に関わる市民を増やしていくのか、具体的な取組方策が見えるようにしていただきたい。
- 安全・安心が実感できるまちをめざし、地震への備えとして、橋梁や上水道の配水管など、ライフラインの耐震補強を着実に進めていただきたい。

その他、目標の達成に向けて

- 新しく整備する公園を市民とともに検討していることや、市道港線の拡幅工事が行われている理由、災害避難所のライフライン耐震化など、市民のことを考え、取組みが行われていることがわかった。今まで、地区が違うため、知らなかった。
- 目標（11）に掲げる健康自生地の取組みを考慮した、いきいき号のコース検討も必要ではないか。